

なら 植防ニュース

第 1 回一般社団法人奈良県植物防疫協会通常総会新年度の事業計画、予算、人事が決まる

平成 25 年 5 月 31 日に、農業交流館で一般社団法人に移行後初めての通常総会が開催された。下記の議題について審議し、承認された。

第 1 号議案：新法人移行に関する件について

新法人制度改革に伴い、平成 24 年度の理事会、総会で一般社団法人への移行方針を決定し、移行手続きを行った。平成 25 年 3 月 22 日、奈良県知事より移行認可書が交付され、4 月 1 日より一般社団法人奈良県植物防疫協会として発足した。

第 2 号議案：平成 24 年度事業報告及び収支決算について

農薬安全啓発事業では、農薬危害防止運動の推進、農薬安全使用研修会の開催、「なら植防ニュース」の発行などを行った。

農薬試験事業では、新農薬実用化試験の実施、農薬展示圃の設置、各種シンポジウム、検討会などに出席した。

有機農産物認定事業では、JAS 法に基づいて、有機農産物の生産行程管理者 7 グループについて認定の継続、1 グループの新規認定を行った。

以上の事業に伴う一般会計並びに特別会計の総額 29,491,053 円の収支決算とその会計処理に関して適正に処理されて問題なし

一般社団法人奈良県植物防疫協会

〒 634-0813 橿原市四条町 8 8

奈良県農業総合センター内

tel : 0744 (22) 8151

fax : 0744 (22) 8152 (専用)

<http://www9.ocn.ne.jp/~nsyoku29>

目 次

◎ 第 1 回奈良県植物防疫協会通常総会	
◎ 農薬危害防止運動	p.2
◎ 関西病虫害研究会報告	p.3
◎ 登録失効になった農薬（農薬検査所の失効農薬情報より）	p.4

との監査結果報告があり、原案どおり承認された。

第 3 号議案：平成 25 年度事業計画について

農薬安全啓発事業、農薬試験事業（殺菌剤、殺虫剤試験 151 件、除草剤等 11 件、農薬展示圃設置事業 47 件）、有機農産物認定事業は 8 事業者と新規認定申請 1 事業者で、生産者 23 名、圃場 84 カ所を予定：原案どおり承認された。

第 4 号議案：平成 25 年度収支予算案について：原案どおり承認された。

なお、一般社団法人への移行に伴い、公益目的支出計画として、26 年間農薬安全啓発事業に 345,000 円を支出することになった。

第5号議案役員人事について
新役員は以下のように選任された。

代表理事会長

浅井眞人(奈良県農業協同組合中央会専務理事)
副会長

寺西由晴(奈良県農業協同組合部長)

梨原正好(奈良県毒物劇物取扱者協会会長)
業務執行理事

和田正光(奈良県農業水産振興課長)

岡山健夫(奈良県植物防疫協会事務局長)
理事

信岡 尚(奈良県農業総合センター所長)

黒瀬 真(奈良県病害虫防除所長)

田中宇兵衛(奈良県農薬商業組合理事長)

松原久展(奈良県農業機械公正取引協議会理事)
監事

半田嘉秀(奈良県農薬卸商組合 理事長)

福井豊宏(奈良県農業共済組合連合会部長)

事務局体制は、以下の通りです。

業務執行理事 和田正光

事務局長 岡山健夫

試験員 福井俊男

試験員 小島博文

試験員 小田道宏

試験員 瀬崎滋雄

書記 小山則子

平成25年度農薬危害防止運動

農薬危害防止運動が6月1日から9月30日まで実施される。農薬の使用機会が増えるこの時期に、不適正な使用による危害を防止するため、県農林部、医療政策部、くらし創造部、教育委員会及び関係団体が参集し、推進会議が開催された。

最近の状況について農業水産振興課から、①全国の農薬使用に伴う事故被害は、誤用による死亡が前年より増加、②農作物、家畜等の被害について、EUではミツバチへの悪影響により一部殺虫剤が使用禁止、③水稻除草剤処理後7日間の止水の徹底、などの報告があった。

関係機関から住宅地等における農薬使用について、①周辺住民への周知徹底、②地方公共団体が行う病害虫防除について入札資格要件に農薬管理指導士等を有することを規定、③施設管理担当者に研修参加を促す、などの説明があった。また、平成24年10月に酸化フェンブタスズ(主な商品名:オサダン)が毒物に、ジチアノン(主な商品名:デラン)が劇物指定されたとの報告があった。7月には農薬安全使用研修

会の開催が予定されている。



平成25年度農薬安全使用研修会
日程: 2013年7月19日14時~16時
会場: 奈良郡山総合庁舎
大和郡山市満願寺町(旧県立片桐高校)
事前申し込みが必要です。

平成25年5月23日、滋賀県大津市において関西病虫害研究会第95回大会が開催され、病害、虫害合わせて24課題が発表され活発な質疑応答が行われた。虫害分野ではアザミウマの防除、病害分野ではトマトの病害に関する報告が多く、虫害分野で印象に残った講演の概要を報告する。

○キュウリ施設周辺におけるミナミキイロアザミウマのMYSV保毒虫率と発病株率の関係

岐阜県農業技術センター 妙楽崇氏

岐阜県では施設栽培キュウリでメロン黄化えそ病ウイルス（MYSV）によるキュウリエそ病が問題になっている。MYSVはミナミキイロアザミウマにより媒介されるため、施設周辺の保毒虫率とキュウリエそ病の発病株率を調査した。5施設の調査結果によると、保毒虫率は概ね40~70%で差は少なく、発病率との相関はなかった。発病率の高い施設では側窓に0.8mmのネット、低い施設では0.4mmのネットを展張しており、ミナミキイロアザミウマの侵入対策がキュウリエそ病の抑制に重要であることが示唆された。

○メタリジウム粒剤処理による施設キュウリのミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミ及びトマトハモグリバエの防除

（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所
柴尾学氏

昆虫病原性糸状菌は昆虫の天敵として、重要なものの一つである。メタリジウム属糸状菌は土壌に常在する昆虫病原性糸状菌であり、アリストライフサイエンス（株）はこの菌を微生物殺虫剤として製剤化した。そこで、この剤の土壌処理による施設キュウリの微小害虫に対する効果を調査した。定植直後の処理により、ミナミキイロ

アザミウマの生息密度は無処理より低くなり、防除効果が認められた。トマトハモグリバエの食害は無処理の半分程度となり、やや低いながらも防除効果が認められた。しかし、タバココナジラミの生息密度は無処理と同程度で防除効果は低かった。ミナミキイロアザミウマやトマトハモグリバエは土壌中で蛹化し、タバココナジラミは葉上で主に蛹化する。土壌中で蛹化する前2種は蛹化時にメタリジウム菌に感染したと考えられた。これらの結果より、メタリジウム菌剤は土壌中で蛹化する微小害虫の防除に有効であることが示唆された。

○超音波発振装置によるハスモンヨトウ求愛行動抑制効果

滋賀県農業技術振興センター 江波義成氏

ガの多くは超音波を感知する耳を持っていることがわかっている。タバコガ類やヨトウガ類を含むヤガ類は超音波を感知すると忌避行動を起こすことが知られており、これはコウモリの捕食を回避する行動と考えられている。一方、ガはこの超音波を感知する能力を種内コミュニケーションに利用しているとされ、超音波がハスモンヨトウの雌成虫が行う羽ばたきによる求愛行動へもたらす影響について、検証をおこなった。ハスモンヨトウ雌成虫は機器から出力される超音波により羽ばたきを停止し、効果距離は約8mであった。種内コミュニケーションの農作物防除への応用は未知数であるが、これからの発展が期待される分野である。

平成25年度農林害虫防除研究会奈良大会
日程：2013年7月11日～12日
会場：奈良ロイヤルホテル、シポジウム：「奈良県での研究と普及の連携による取り組み」

登録農薬失効情報（2013. 3. 1～5. 31）

農林水産消費安全技術センター農薬検査部の登録農薬失効情報より抜粋

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	申請者名(略称)	失効日
殺虫剤				
5053	MEP乳剤	三共スミチオン乳剤	三井化学アグロ	3/19
5191	MEP粉剤	住化スミチオン粉剤2	住友化学	4/25
5192	MEP粉剤	住化スミチオン粉剤3	住友化学	4/25
11583	クロルピリホス水和剤	クミアイダーズバン水和剤25	クミアイ化学	5/4
13246	メソミル粉粒剤	ランネート微粒剤F三共	三井化学アグロ	5/14
13250	MEP乳剤	ヤシマ産業スミチオン乳剤50	住化グリーン	5/14
15404	アセフェート・NAC水和剤	ホクコーオルトランナック水和剤	北興化学	3/24
15452	ジメトエート・フェンバレレート乳剤	クミアイベジホン乳剤	クミアイ化学	3/29
15453	ジメトエート・フェンバレレート乳剤	三共ベジホン乳剤	三井化学アグロ	3/29
16278	MEP粉剤	三共スミチオン粉剤2DL	三井化学アグロ	3/17
16299	ベンスルトップ粉剤	ホクコールーバン粉剤DL	北興化学	4/14
17239	クロフェンテジン水和剤	日農カーラフロアブル	日本農薬	3/24
17240	クロフェンテジン水和剤	日産カーラフロアブル	日産化学	3/24
17271	エトフェンプロックス粉剤	三共トレボン粉剤DL	三井化学アグロ	4/26
17274	エトフェンプロックス粒剤	三共トレボン粒剤	三井化学アグロ	4/26
17609	モナクロスポリウム フィマトパガム剤	ネマヒトン	エムシー・ファティコム	4/9
18919	二酸化炭素くん蒸剤	殺虫用炭酸ガス	岩谷産業	3/10
18947	エチルチオメトン・ベンフラカルブ粒剤	三共ステッド粒剤	三井化学アグロ	4/24
18970	シラフルオフエン乳剤	石原MR. ジョーカーEW	石原産業	4/26
18975	シラフルオフエン水和剤	石原MR. ジョーカー水和剤	石原産業	4/26
18976	シラフルオフエン水和剤	三共MR. ジョーカー水和剤	三井化学アグロ	4/26
18980	シラフルオフエン乳剤	石原シラトップEW	石原産業	4/26
18981	シラフルオフエン乳剤	三共シラトップEW	三井化学アグロ	4/26
20611	イサエアヒメコバチ・ハモグリコマユバ	マイネックス91	アリタ	4/16
20620	チアクロブリド水和剤	三共バリアド顆粒水和剤	セキケン	4/26
20860	イソキサチオン粒剤	ネキリトンK	保土谷UPL	4/11
21262	アセフェート・シクロプロトリン水和剤	ブーマラン水和剤	北興化学	4/7
21291	メタアルデヒド粒剤	ナメジゴクフロ	レインボ-	5/25
21396	臭化メチルくん蒸剤	不可欠用途専用ニチヒューム	日室化学	5/7
22484	イソキサチオン粒剤	カルホスベイトK	保土谷UPL	4/11
22486	イソキサチオン粒剤	ネキリガードK	ユーピーエル	4/11
殺菌殺菌剤				
18990	シラフルオフエン・フサライド粉剤	三共ラフサイドジョーカー粉剤DL	三井化学アグロ	4/26
18992	シラフルオフエン・バリダマイシン粉剤	ホクコーバリダジョーカー粉剤DL	北興化学	4/26
19971	フィプロニル・アゾキシストロビン粒剤	日農アマスタープリンス粒剤	日本農薬	4/27
20635	チアクロブリド・カルプロパミド粒剤	ウィンバリアード箱粒剤	バィエル	4/27
21257	カルボスルファン・カルプロパミド粒剤	石原ウィンガゼット粒剤	石原バィ	3/24
21287	MEP・カスガマイシン・ジクロシメット粉剤	ホクコーブルーザスミチオン粉剤DL	北興化学	5/25
21288	BPMC・MEP・カスガマイシン・ジクロシメット粉剤	ホクコーブルーザスミパッサ粉剤DL	北興化学	5/25
殺菌剤				
11576	チオファネートメチル水和剤	ヤシマトップジンM水和剤	協友アグリ	5/1
15472	キャプタン・ホセチル水和剤	日曹アリエッティC水和剤	日本曹達	3/29
18123	ホセチル・有機銅水和剤	ローヌ・ブーランボルクス水和剤	バィエル	4/24
22673	タラロマイセス フラバス水和剤	モミキーパー	セントラル硝子	4/21
除草剤				
18940	エンドタールニナトリウム塩液剤	三共エンドタール液剤H	三井化学アグロ	4/24
18942	エンドタールニナトリウム塩液剤	三共エンドタール液剤	三井化学アグロ	4/24
18944	エンドタールニナトリウム塩粒剤	三共エンドタール粒剤25	セキケン	4/24
19944	クレトジム乳剤	セレクト乳剤	アリタ	4/24
20595	カフェンストロール・ダイムロン・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	三共ラクダープロジャンボ	三井化学アグロ	3/14
20596	カフェンストロール・ダイムロン・プロモブチド・ベンスルフロメチル粒剤	ラクダープロジャンボ	デュポン	3/14
22641	グリホサートイソプロピルアミン塩・ブロマシル・メコプロップPカリウム塩液	草刈大王	アース	3/17
21962	ブタミホス・DCBN複合肥料	シバキーププラス	住化グリーン	5/10